



---

# キャスコ社の株式取得に関する解説資料

2005年10月14日



For-side.com



**For-side.com Co.,Ltd.**

Copyright (C) 2005 For-side.com All Rights Reserved

For-side.com

今期、For-sideグループは将来価値の創造のために、積極的な事業投資を図りました。

今回、その一環として、ポイント流通型ポータルサイト『For-side Plus』事業の強化を図るために、インターネットと親和性の高いモバイル金融分野に参入します。

今後、より迅速な事業拡大を図るために、リテール分野に強みを持つカスコ社を買収し、モバイル金融事業の早期の事業確立を図ります。

# 取得の背景

# インターネットと金融の親和性について

## - インターネットと金融の親和性 -

双方向性、可視性、セキュリティ能力等に優れたインターネットインフラには高い親和性がある

### 親和性について

双方向性がある

可視性がある

セキュリティ能力に優れる

「情報の移動」にて商取引が完了する

証券、銀行、消費者金融といった分野の事業会社が参入

通信インフラ、セキュリティ技術の進化によりインターネットを通じた金融サービスが続々と登場している。

# モバイル金融分野の可能性

## - Felica搭載端末の普及 -

モバイルでも簡単に決済できるFelica搭載端末の普及が進んでいる。

### Felica搭載端末の現在の状況

#### Felica搭載端末の普及数

**500万台** (2005年8月時点)

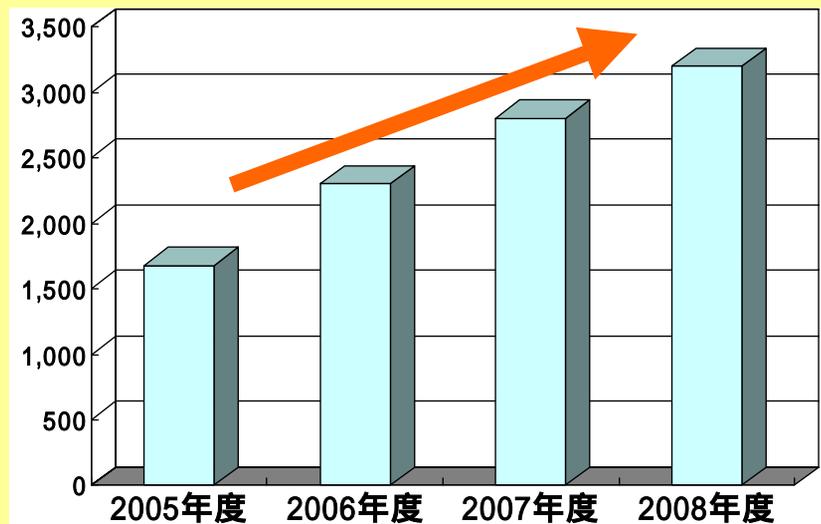
#### Felica搭載端末の今後の動向

➤NTTドコモだけでなく、KDDI・Vodafoneでも採用決定し、マルチキャリアにて展開  
( 秋以降に発売)

➤Felica利用可能店舗数 **約2万店舗**

(2005年4月1日時点)

### Felica搭載端末の今後の予測



「Felica」はソニー株式会社の登録商標です。

出所: 株式会社矢野経済研究所 2005年2月1日リリース

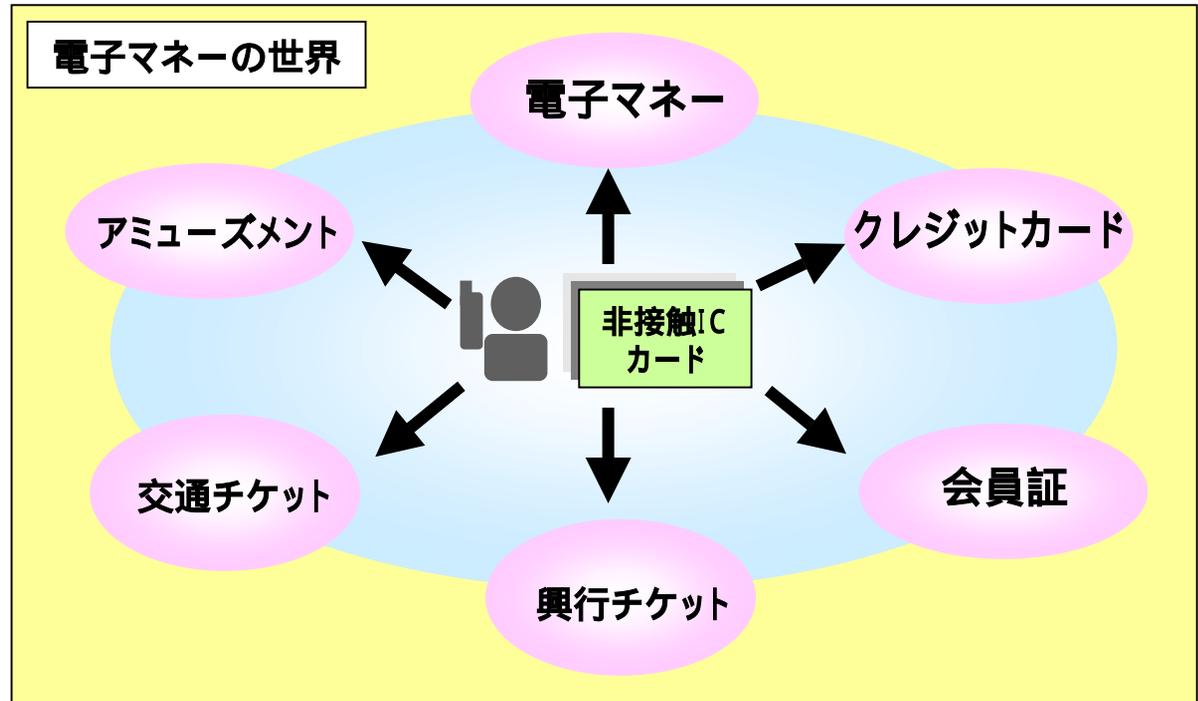
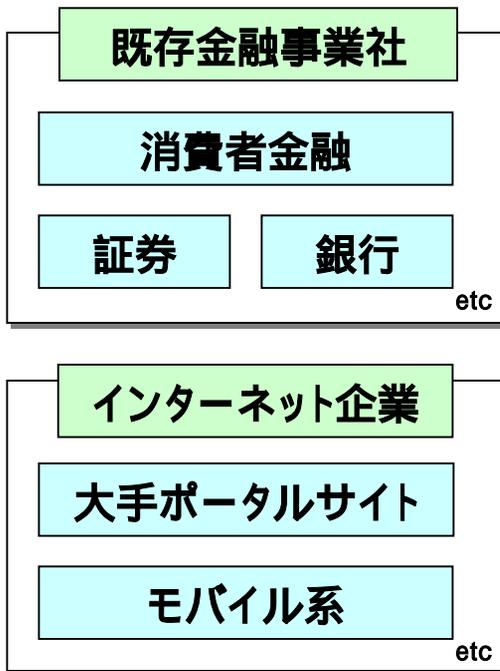
単位: 万台

Felica搭載端末が普及することで、更に電子マネーが普及すると予測される。今後は、このモバイル分野が有望視される。

# 今後、予測される動向について

## - 電子マネーの普及 -

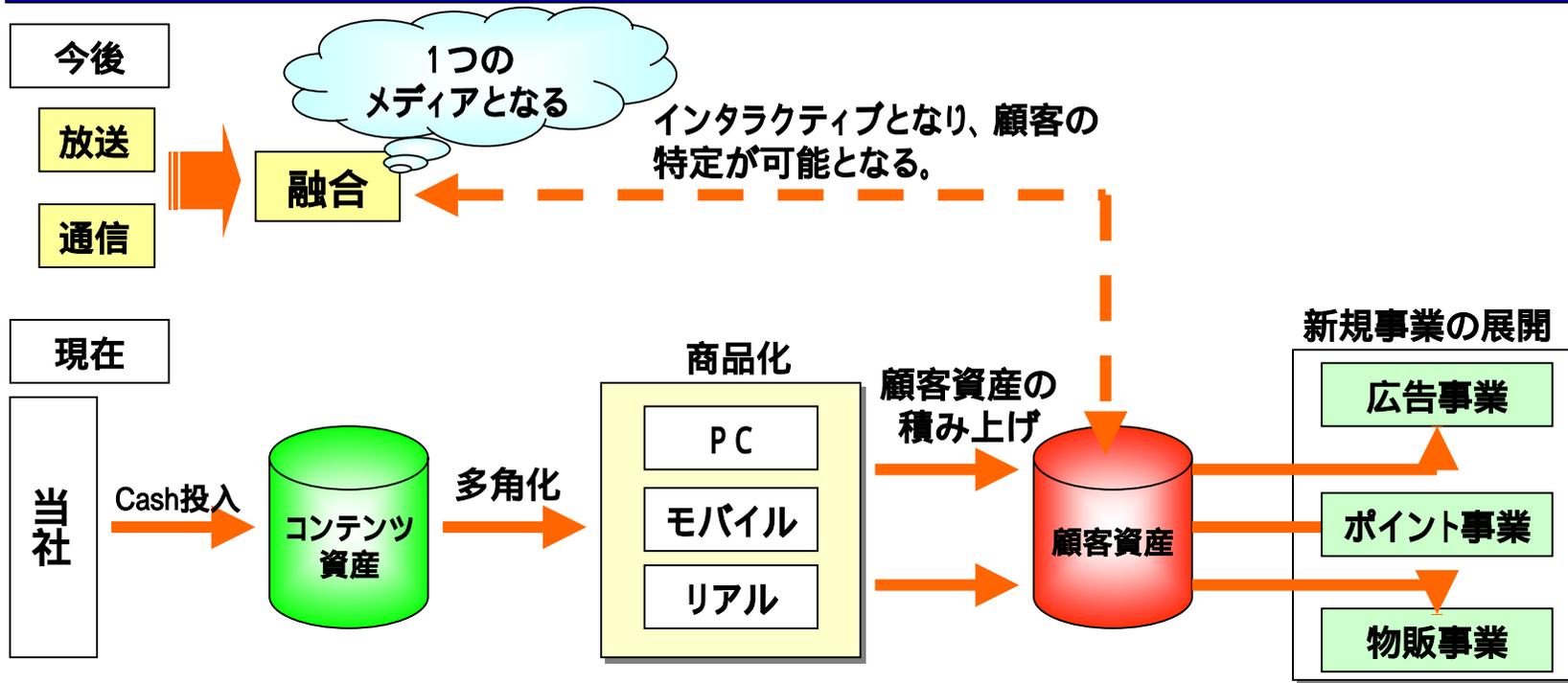
Felica搭載端末の普及に伴って、電子マネーは生活に不可欠なものとなる。



今後、各インターネット企業がモバイルを活用した金融分野に参入することが予測される。

- 顧客資産の蓄積 -

コンテンツ資産アプローチにより、多数の商品化を行い、販売し、顧客資産を積み上げる。



BtoCの顧客資産を圧倒的に保有し、  
今後はその顧客資産を活用した新たなビジネスを確立する。

- For-side Plusの確立 -  
顧客資産を活用したポイント流通型のポータルサイト  
『For-side Plus』を確立する



『For-side Plus』



『お金』を貸す

物販事業を拡大する中で、ユーザーの機会損失を逃すことがないように、資金ニーズの充足をすべく、資金援助をするための金融事業の展開が不可欠であった。

今後、他社のポイントを含めてポイントを一本化し、電子マネーとポイント流通や物販事業の拡大に合わせ金融サービスを展開する。

## - キャスコ社の強み -

リテール分野のローンやキャッシングに強みを持つ

### キャスコ社の強み

#### 1 即時与信機能と回収機能に優れる

資金貸し出しのための即時での与信管理機能と回収機能に強みを持つ。キャスコ社は資金の未回収率が低く、資金を回収できており、機会損失を逃すことなく、ユーザーに資金援助を行っている。

#### 2 新規事業開発能力に優れる

近年では、これまでの与信機能や回収機能ノウハウを生かし、法人向けの事業者ローン、エステ向けのエステローン、担保保証の不動産(家賃)ローン等を展開するなど、新規事業の開発能力に優れる。

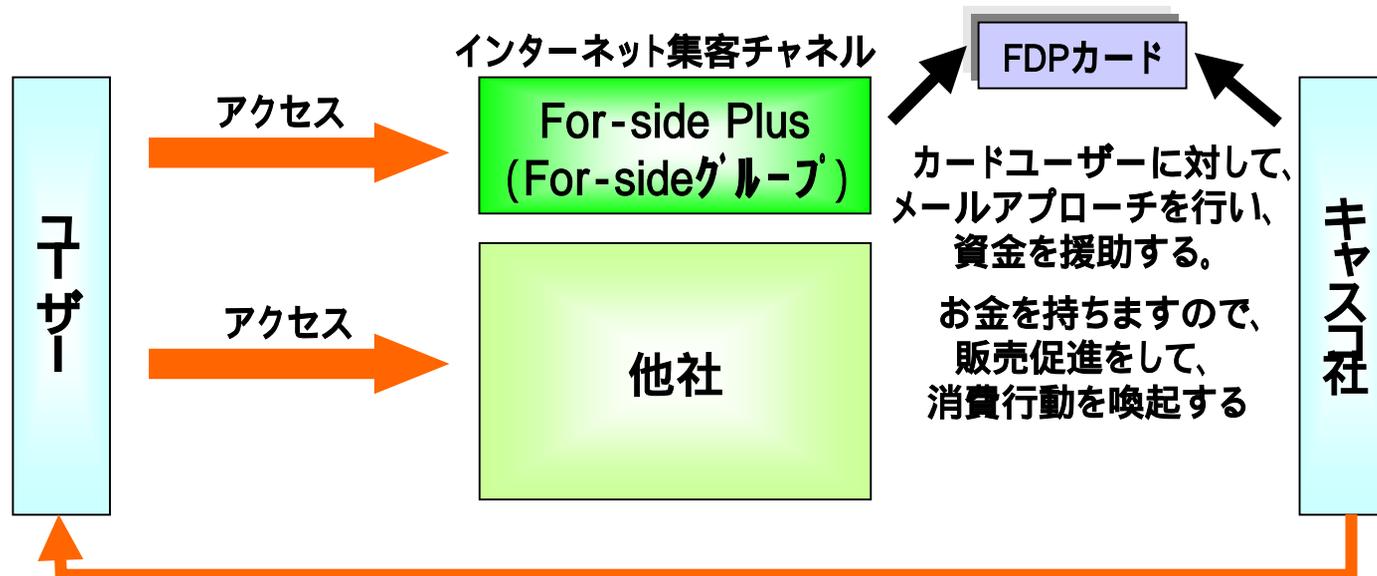
リテール分野に強みを持つキャスコ社を子会社化することで、与信の機能や回収機能を得ることが可能となる。

今後の展開に関して

# 今後の展開に関して

## - シナジーに関して -

FDPカードを創設し、カード会員に対してローン・キャッシング事業の展開を図る



第一段階 For-side Plusカードを制作する。

第二段階 他社にもASP提供し、提携カードを増加させる。

ユーザーにメールアプローチを継続的にし、ユーザーとの接点を密に持つ、手数料収益を確固たるものとする。

おわりに



For-side.com

*For - side*グループは、今後も高い成長率を実現させ、  
デジタルコンテンツの総合流通業の世界トップ企業を目指します。